

石井 淑子 様のインタビュー

石井 淑子 様

(Mikuy)

ママのためのリアルな
ハンドメイド拠点を作りたい



資金調達額

1,314,611円
(目標額:1,000,000円)

支援者数

122人

- 👉 プロジェクトの概要
- 👉 クラウドファンディングを利用した目的
- 👉 支援を行った取扱CF事業者に対する感想
- 👉 クラウドファンディングを利用して、良かった点・苦労した点
- 👉 今後、クラウドファンディングを利用する方へのアドバイス

プロジェクトの概要

— 気兼ねなく思いっきり活動できる場所が欲しい!

2019年に、東京都大田区、品川区を中心とした5人のハンドメイド作家で立ち上げた「ママズオン」は、ママの自立を支援しようと、家にいながらオンラインで学べるハンドメイド講座を多数開催していました。

そして、学びを深めたメンバーが実践できる場としてイベント開催をして、ハンドメイド作品の販売やワークショップ等も開催していました。勉強会も都内のカフェを借りて不定期に開催していましたが、「リアル」で会ってメンバー同士が交流することの価値をすごく感じていました。

子育て中のママが、子連れでも思いっきり活動できる、イキイキ笑顔で活動できるそんな「ママズの家」という拠点をもちたい、コロナを経験してさらに強い思いが芽生え、今回チャレンジしました。

ママになる前は9割の人が何かしらの仕事をしていました。しかし、特技や資格があるのにママになった途端、それを活かすことができなくなってしまの方も多いのです。

私たちのコミュニティは、ハンドメイドを通じて新しいことを学び実践する場を提供します。



— 同じ目的を持つ仲間の思いを形にする

仲間と会って交流することでパワーをもらえ笑顔になれます。ママたちの経験や特技を活かして多くの方が楽しめる場所を作り、地域活性化に貢献していくお店にしたい。また、地域のインフォメーションとして誰でも気軽に立ち寄れる場所を提供したい。そんな思いで実施したプロジェクトの目的と資金の使い道は以下の通りです。

【プロジェクトで実現したかったこと】

- ママ達が制作したハンドメイドを「学びながら」作品販売できる場所作り
- ママ達の強みや特技を生かして「学びながら」講座やワークショップができる場所作り
- ママ達と地域の方のコミュニティの場所作り

【資金の使い道】

- 店舗の壁紙の張り替え、商品棚の設置
- 赤ちゃんもママも使いやすい「ワークショップスペース」の設置
- 講座、ワークショップ用のテーブルと椅子(座布団)の購入、テレビ設置費用
- ホームページの制作

クラウドファンディングを利用した目的



— お店を作るだけでなく、ママズオンの活動を知ってほしい

ママが集まれるリアルな拠点兼お店を作るとなると、費用を抑えてもそれなりに綺麗にしなければなりません。壁紙の張り替えや、制作したハンドメイド商品を設置する商品棚などの備品、集客のためのホームページ制作費など、自分たちだけでは実現できない、常にママたちが会える場所を作るための資金調達のためにクラウドファンディングをしました。

また、ママズオンの活動についてこれまでよくわからずハンドメイド商品を買ってくれたり、利用してくれたりする方も多くいました。しかし、このプロジェクトを通して私たち一人一人がママとして目的・目標を持って活動している側面も知ってもらえれば、もっと様々な形で応援していただけると考えて利用しました。

支援を行った取扱CF事業者に対する感想



— 支援者様目線のアドバイスに感謝

初めてクラウドファンディングを行って、思っていた以上に大変なんだと驚きました。プロジェクトページを作るのがとにかく難しかったのですが、担当の方が文章の添削から写真やデザインのアドバイスをしてくださいました。

一番嬉しかったのは、類似したクラウドファンディングをやっていた方の実例の参考資料がいただけたことです。プロジェクトページを自分たちに合った世界観にデザインするのにとても参考になりました。

リターンの商品に対してのアドバイスも助かりました。支援者様に満足していただけるように、自分達では気が付かない所をフォローしていただきました。

スタート前からゴールまで親身になっていただけたことで、めげずに乗り越えられました。

クラウドファンディングを利用して、良かった点・苦労した点

— 良かった点

- 自分たちの資金だけでは難しかったが、支援をいただいでお店のリノベーションを実現できたこと
- 私たちがただのコミュニティではないことや事業内容を細かく知ってもらえたこと
- 注目してくれている方や応援してくれている方がたくさんいることに気がつけたこと
- リターンを複数買ってくださる支援者様もいて、ここまでしてくれるのだと感動したこと

— 苦労した点

- プロジェクトページを作りこむのが難しく大変だったこと
- 支援金が目標金額に届かないかもしれないというプレッシャーや心配が大きかったこと
- お声かけをしたが、理解が得られずに支援に繋がらなかったときにめげそうになったこと

今後、クラウドファンディングを利用する方へのアドバイス

— 覚悟をもって取り組んでほしい

実はクラウドファンディングのことを簡単だと思ってやってみたのですが、やってみると資金調達をするのはそんなに簡単なことではないと気づきました。

プロジェクトページを作るためには、自分がそういうものが苦手な場合はWEBページのことをよく知っている人が周りにいたほうが有利です。プロジェクトページを見て応援してもらうので、自分が伝えたいことを人にわかりやすく伝える必要があるからです。

クラウドファンディングの経験者に事前に話を聞いてみるのもお勧めです。

次に、私はスタートとゴールが大事だと実感しました。

クラウドファンディングのスタートとゴールをSNSでカウントダウンしたことで、イベントのように盛り上がり、みんなで成功させようという一体感が生まれたと思います。

そして、日頃から人を大切にすることが大事なのだ改めて感じました。

皆さんの協力や応援のおかげで途中くじけそうなときも乗り越えて、達成に繋がりました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

